

魁電 大輪開花

紙相撲新聞

第147回本場所
十日目、千秋楽号

編集・発行
日本紙相撲協会



↑千秋楽の相手は大関残留をかける大神楽。勝負を急ぐ大神楽を冷静に捌き、引き落して破って、追う英筏と星一つの差を守り初優勝。

↓今場所限りで定年を迎える友砂理事長から最後の賜杯を受け散る魁電。来場所は大関獲りだ。



水晶嶽●(寄り切り)○英 筏

一門再編で麻縄に移籍しての大活躍
元師匠岩風親方に捧げる涙の初優勝
【第四百四十七回本場所十日目、千秋楽】
第147回紙相撲本場所は前開催日より約一ヶ月を経た12月8日、やや肌寒くも晴天に恵まれた冬晴れの日、いよいよ最終開催となり幕内、十両の十日目と千秋楽に幕下、育成会も千秋楽を迎え優勝力士の勇姿を一目見ようと名古屋からも熱心な紙相撲ファンが押し寄せ、否が応でも盛り上がりが見える都内には練馬国技館にて取り行われ

終盤戦の九日目までを取り終えて小結魁電、平幕の英筏の二名が先頭に立ち、2敗で平幕の佐賀ノ海、超刃、朱雀湖、大江錦、3敗で横綱美空富士、平幕の出羽翼、四季嶋、烏帽子岳、月山が追う展開となった十日目。先頭の魁電が関脇水晶嶽を寄り切りで破り、2敗を守ると、英筏は大関大神楽に寄り切りを喫り、2敗に陥る。佐賀ノ海が2敗と後退し、2敗で追いついた超刃も、この日、超刃と後退し、2敗に陥る。超刃も、この日、超刃と後退し、2敗に陥る。



超 刃○(寄り切り)●阿古耶

2敗の大江錦が烏帽子岳に、佐賀ノ海が玄武岩にそれぞれ寄り切りを喫って脱落。超刃は阿古耶にそれと立会い、先手勝ち。英筏も取り直し、一番で勝つ。大関大神楽も攻め立て得意の左を差し、水晶嶽を一気に寄り切り、2敗を守り

優勝	殊勲賞	敢闘賞	技能賞
魁 電	佐賀ノ海	魁 電	超 刃
十勝一敗	八勝三敗	十勝二敗	九勝二敗
(初)	(初)	(2)	(2)

第147回本場所星取表

美空富士	横綱	若ノ嶋	横綱
鞍春ノ城	横綱	白 閃	横綱
水晶嶽	大関	大神楽	大関
玄武岩	関脇	阿古耶川	関脇
出羽翼	小結	魁 電	小結
虎 笹	前1	佐賀ノ海	前1
英 筏	前2	源 氏	前2
鹿 富	前3	阿 那	前3
若初富	前4	虎 剛	前4
戸花	前5	剛 勇	前5
若 魁	前6	剛 勇	前6
朱 雀	前7	鳥 帽子	前7
大江錦	前8	超 刃	前8
大 碧	前9	超 刃	前9
	前10	超 刃	前10
	前11	超 刃	前11
	前12	超 刃	前12
	前13	超 刃	前13
	前14	超 刃	前14

虎ノ山	十1	黒	船
生 駒	十2	剣 聖	船 聖
誠 海	十3	紅 葉	盛 盛
鳥 渡	十4	天 我	我 我
雷 幕	十5	伊 達	我 我
刺 瀬	十6	桃 洲	洲 洲
綱 嵐	十7	目 向	藤 藤
若 若	十8	太 力	力 力
若 盛	十9	男 女	丸 丸
江 戸	十10	江 戸	丸 丸
江 蔵	十11	若 若	丸 丸
腰 乃	十12	若 若	丸 丸
乃 乃	十13	若 若	丸 丸
吹 雪	十14	若 若	丸 丸

これが大関大神楽が左のつま先右の踵で残しにらなる魁電の強烈な押しにも、両踵を土俵外に出しながらも必死で堪えそこから土俵中央へ押し返す大神楽。再度右を押し付け合い大神楽が左を差しに出ると魁電が右の投げを打ち出して大関大神楽を土俵際まで追い詰める。この日、英筏も取り直し、一番で勝つ。大関大神楽も攻め立て得意の左を差し、水晶嶽を一気に寄り切り、2敗を守り

て1敗の魁電の結果を待つ事に。